

第 64 回「山形県内企業の景気動向調査」速報

(令和 2 年 8 月調査)

～景況感はさらに悪化。先行きも引き続き慎重姿勢～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」が▲55.5 (前回調査比 10.2 ポイント下落) と **5 期連続の悪化**となった。これは 2004 年 11 月の調査開始以降の最低値であり、これまでの最低値の 2009 年 5 月調査の▲46.6 をさらに下回った。「各種 D I 値 (前年同期比)」をみると、「資金繰り」が改善したものの、「売上高」「営業利益」は大幅な悪化となった。「人員・人手」は 3 期連続でプラス幅が縮小し、前回に引き続きマイナスで推移しており、若干の余剰感がみられる。
- **業種別**に「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」をみると、建設業が▲26.1 (前回調査比 12.5 ポイント下落)、製造業が▲63.8 (前回調査比 19.5 ポイント下落)、卸・小売業が▲65.0 (前回調査比 1.1 ポイント下落)、サービス業が▲62.7 (前回調査比 6.0 ポイント下落) と、すべての業種で悪化となった。
- **地域別**に「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」をみると、村山南部が▲53.6 (前回調査比 9.2 ポイント下落)、村山北部が▲61.6 (前回調査比 12.5 ポイント下落)、最上が▲55.8 (前回調査比 29.1 ポイント下落)、置賜が▲72.2 (前回調査比 3.8 ポイント下落)、庄内田川が▲47.6 (前回調査比 11.4 ポイント下落)、庄内飽海が▲50.0 (前回調査比 4.0 ポイント下落) と、すべての地域で悪化となった。
- **先行き見通し**は「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」が▲50.6 (今回調査比 4.9 ポイント上昇) と改善の見込みとなっているものの、依然として新型コロナウイルス感染症の影響を不安視している状況が見受けられる。

【特別調査】

- **設備投資動向**について尋ねたところ、全業種でみると、「実施する (した)」と回答した企業の割合は 33.7% と、前年度に比べ 7.6 ポイントの低下となった。一方、「実施しない」は 48.9% と 5.6 ポイントの上昇となった。
- **新型コロナウイルス感染症の事業への影響**について、事業活動全体における平常時の経営状況を 100 とした場合の今年度の業績見通しをたずねたところ、全業種で「80～100」が 49.9% (前回調査比 5.1 ポイント上昇) と最も多く、次いで「50～79」が 32.7% となっている。

令和 2 年 9 月

株式会社 フィデア情報総研

目次

I.	県内企業の業況	1
1.	概況	1
2.	業種別の動向	2
(1)	業種別の概況	2
(2)	業種別 D I 値の動向	3
①	建設業	3
②	製造業	4
③	卸・小売業	5
④	サービス業	6
3.	地域別の動向	7
(1)	地域別の概況	7
(2)	地域別 D I 値の動向	8
①	村山南部	8
②	村山北部	9
③	最上	10
④	置賜	11
⑤	庄内田川	12
⑥	庄内飽海	13
II.	景気の天気予報図	14
III.	特別調査	15
1.	設備投資動向について	15
(1)	設備投資動向	15
(2)	設備投資金額	18
(3)	設備投資目的	19
2.	新型コロナウイルス感染症の事業への影響について	21
<参考資料 I : 地域別・業種別回答率>		22
<参考資料 II : 調査の概要>		22

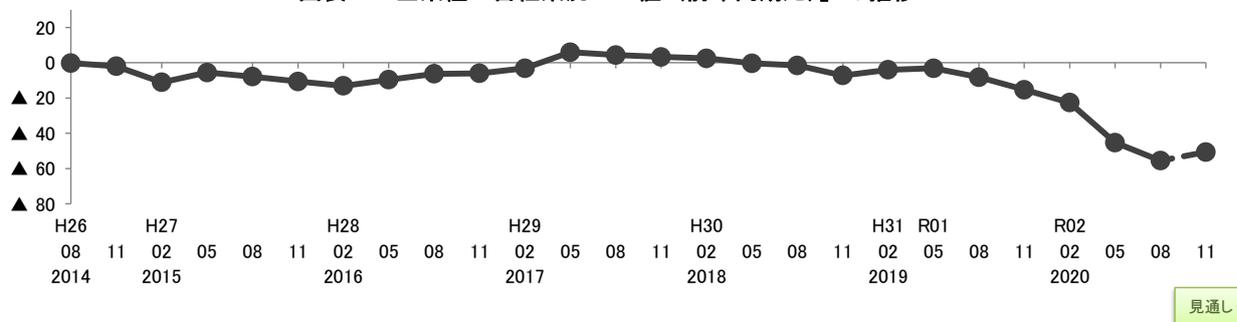
I. 県内企業の業況

1. 概況

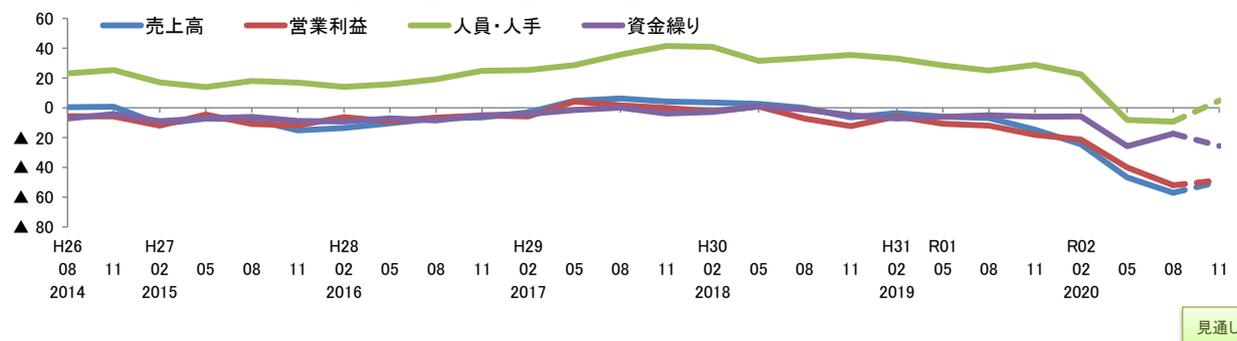
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲55.5（前回調査比10.2ポイント下落）と5期連続の悪化となった。これは2004年11月の調査開始以降の最低値であり、これまでの最低値の2009年5月調査の▲46.6をさらに下回った。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「資金繰り」が改善したものの、「売上高」「営業利益」は大幅な悪化となった。「人員・人手」は3期連続でプラス幅が縮小し、前回に引き続きマイナスで推移しており、若干の余剰感がみられる。

先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲50.6（今回調査比4.9ポイント上昇）と改善の見込みとなっているものの、依然として新型コロナウイルス感染症の影響を不安視している状況が見受けられる。

図表 1 全業種「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 2 全業種「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

山形県 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	全業種	前回調査比	前回調査予測				
R 01.08 (n=416)	▲ 8.2	(▲ 5.1)	▲ 18.8	▲ 7.0	▲ 12.1	25.0	▲ 5.1
R 01.11 (n=385)	▲ 15.3	(▲ 7.1)	▲ 12.7	▲ 14.8	▲ 18.2	28.8	▲ 6.0
R 02.02 (n=412)	▲ 22.6	(▲ 7.3)	▲ 20.0	▲ 24.5	▲ 21.4	22.5	▲ 5.8
R 02.05 (n=433)	▲ 45.3	(▲ 22.7)	▲ 31.8	▲ 46.8	▲ 40.2	▲ 8.3	▲ 25.9
R 02.08 (n=413)	▲ 55.5	(▲ 10.2)	▲ 67.2	▲ 57.1	▲ 52.0	▲ 9.4	▲ 17.4
前回調査比	-	-	-	(▲ 10.3)	(▲ 11.8)	(▲ 1.1)	(8.5)
先行き見通し	▲ 50.6	-	-	▲ 49.6	▲ 48.7	4.8	▲ 25.7
今回調査比	(4.9)	-	-	(7.5)	(3.3)	(14.2)	(▲ 8.3)

※「売上高」DI値は建設業の「完成工事高」を含んだ数値

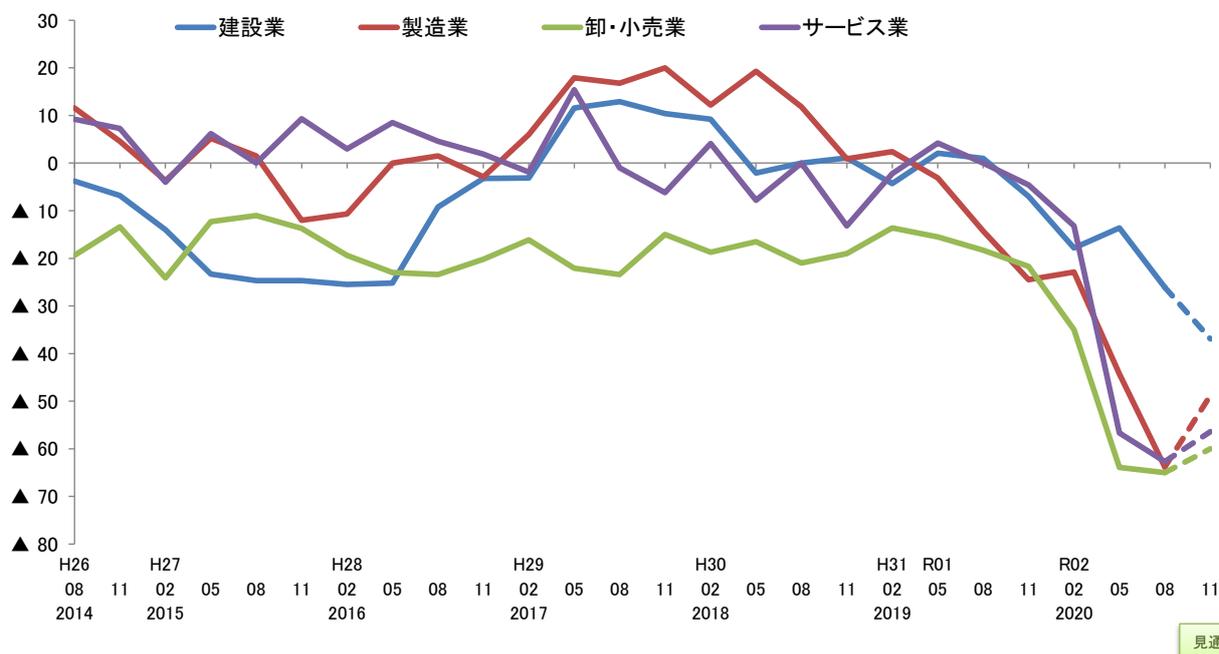
2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業が▲26.1（前回調査比 12.5 ポイント下落）、製造業が▲63.8（前回調査比 19.5 ポイント下落）、卸・小売業が▲65.0（前回調査比 1.1 ポイント下落）、サービス業が▲62.7（前回調査比 6.0 ポイント下落）と、すべての業種で悪化となった。

業況の先行き見通しは、建設業で悪化、その他の 3 業種で改善の見込みとなっている。

図表 3 業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
R 01. 08 (n=416)	▲ 8.2	1.0	▲ 14.3	▲ 18.3	0.0
R 01. 11 (n=385)	▲ 15.3	▲ 7.0	▲ 24.5	▲ 21.7	▲ 4.6
R 02. 02 (n=412)	▲ 22.6	▲ 17.8	▲ 22.9	▲ 35.0	▲ 13.2
R 02. 05 (n=433)	▲ 45.3	▲ 13.6	▲ 44.3	▲ 63.9	▲ 56.7
R 02. 08 (n=413)	▲ 55.5	▲ 26.1	▲ 63.8	▲ 65.0	▲ 62.7
前回調査比	(▲ 10.2)	(▲ 12.5)	(▲ 19.5)	(▲ 1.1)	(▲ 6.0)
先行き見通し	▲ 50.6	▲ 36.9	▲ 48.8	▲ 60.0	▲ 56.4
今回調査比	(4.9)	(▲ 10.8)	(15.0)	(5.0)	(6.3)

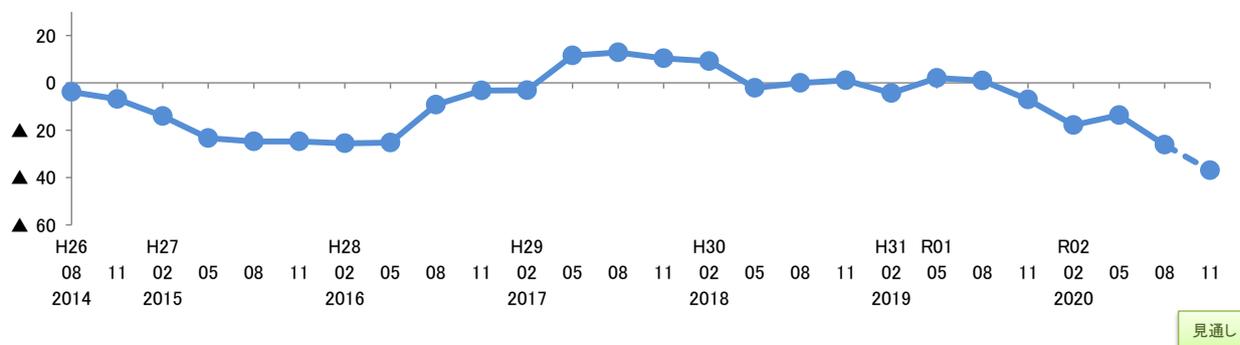
(2) 業種別 D I 値の動向

① 建設業

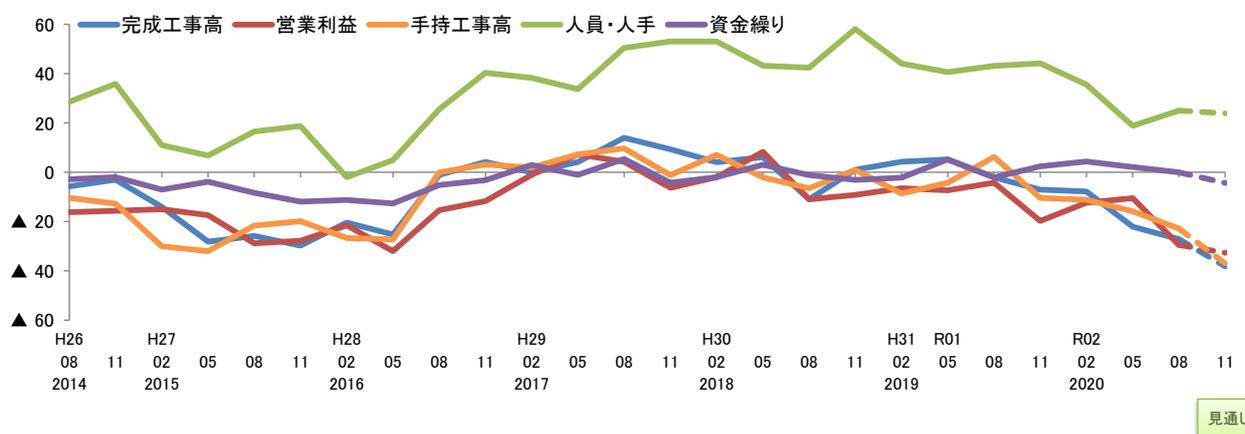
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲26.1（前回調査比 12.5 ポイント下落）と、2 期ぶりの悪化となった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「完成工事高」「営業利益」「手持工事高」「資金繰り」が悪化した。「人員・人手」は 3 期ぶりにプラス幅が拡大した。各社のコメントからは、豪雨による災害復旧工事など公共工事の発注はあるものの、民間の建設投資や個人の住宅投資が減少しており、新型コロナウイルス感染症の影響を懸念している様子が見受けられる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲36.9（今回調査比 10.8 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 4 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 5 建設業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

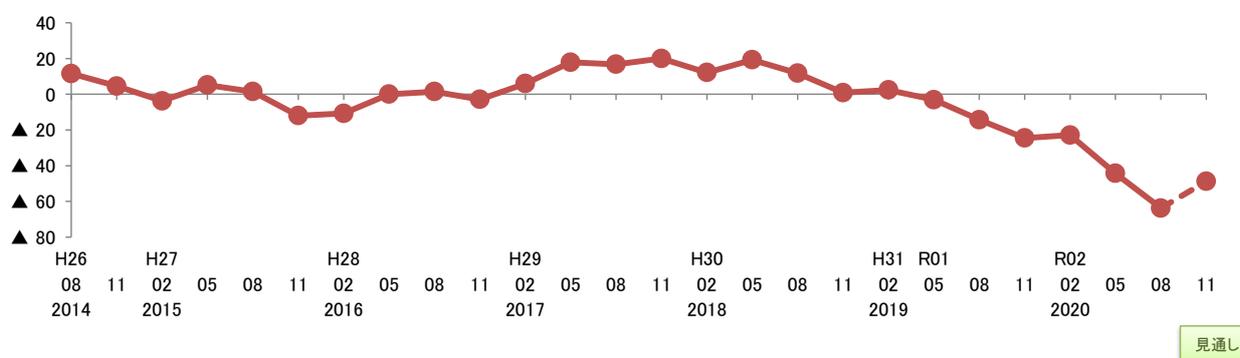
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
R 01. 08 (n=95)	1.0	(▲ 1.1)	▲ 16.6	▲ 2.1	▲ 4.2	6.3	43.2	▲ 2.1
R 01. 11 (n=86)	▲ 7.0	(▲ 8.0)	▲ 14.8	▲ 7.0	▲ 19.7	▲ 10.4	44.2	2.4
R 02. 02 (n=90)	▲ 17.8	(▲ 10.8)	▲ 27.9	▲ 7.8	▲ 12.3	▲ 11.1	35.6	4.4
R 02. 05 (n=95)	▲ 13.6	(4.2)	▲ 31.1	▲ 22.1	▲ 10.5	▲ 15.8	18.9	2.1
R 02. 08 (n=92)	▲ 26.1	(▲ 12.5)	▲ 49.5	▲ 27.1	▲ 29.4	▲ 22.8	25.0	0.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 5.0)	(▲ 18.9)	(▲ 7.0)	(6.1)	(▲ 2.1)
先行き見通し	▲ 36.9	-	-	▲ 38.1	▲ 32.6	▲ 36.9	23.9	▲ 4.3
今回調査比	(▲ 10.8)	-	-	(▲ 11.0)	(▲ 3.2)	(▲ 14.1)	(▲ 1.1)	(▲ 4.3)

② 製造業

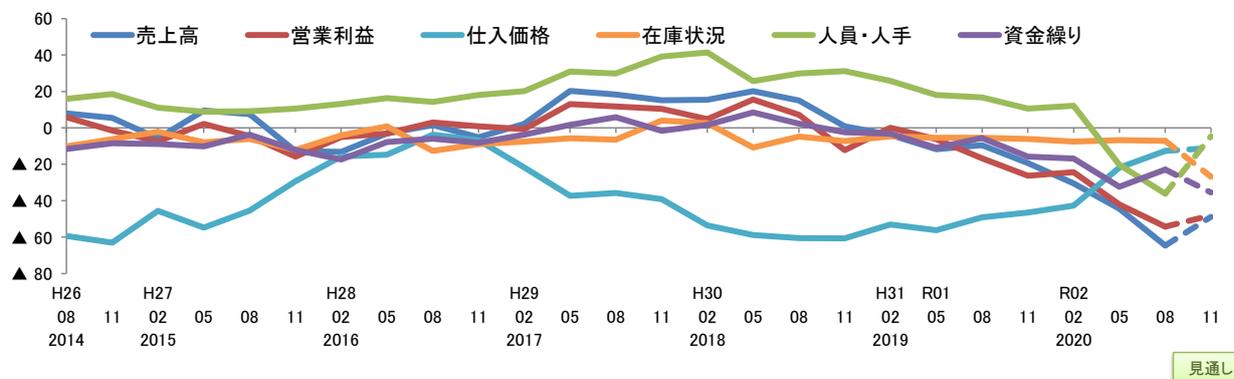
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲63.8（前回調査比 19.5 ポイント下落）と 2 期連続で悪化した。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「仕入価格」と「資金繰り」が改善した一方、「売上高」と「営業利益」が大幅に悪化し、「在庫状況」はほぼ横ばいとなった。「人員・人手」は 2 期連続でプラス幅が縮小した。各社のコメントからは、新型コロナウイルス感染症の影響により、生産調整や原材料の調達の遅れが発生し、多くの企業で減収傾向がみられる。食料品製造業では巣ごもり需要によりスーパー向けは堅調だが、外食用や土産品用については落ち込みが続いている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲48.8（今回調査比 15.0 ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 7 製造業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員 人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
R 01. 08 (n=126)	▲ 14.3	(▲ 11.2)	▲ 16.4	▲ 9.5	▲ 16.7	▲ 49.2	▲ 5.5	16.7	▲ 5.6
R 01. 11 (n=114)	▲ 24.5	(▲ 10.2)	▲ 15.9	▲ 19.3	▲ 26.3	▲ 46.5	▲ 6.1	10.5	▲ 15.8
R 02. 02 (n=131)	▲ 22.9	(1.6)	▲ 13.1	▲ 30.5	▲ 24.4	▲ 42.7	▲ 7.6	12.2	▲ 16.8
R 02. 05 (n=133)	▲ 44.3	(▲ 21.4)	▲ 29.0	▲ 44.4	▲ 42.1	▲ 21.8	▲ 6.8	▲ 20.3	▲ 32.4
R 02. 08 (n=127)	▲ 63.8	(▲ 19.5)	▲ 62.4	▲ 64.6	▲ 54.3	▲ 12.6	▲ 7.1	▲ 36.2	▲ 22.9
前回調査比	-	-	-	(▲ 20.2)	(▲ 12.2)	(9.2)	(▲ 0.3)	(▲ 15.9)	(9.5)
先行き見通し	▲ 48.8	-	-	▲ 48.9	▲ 48.1	▲ 11.1	▲ 26.8	▲ 4.7	▲ 35.5
今回調査比	(15.0)	-	-	(15.7)	(6.2)	(1.5)	(▲ 19.7)	(31.5)	(▲ 12.6)

③ 卸・小売業

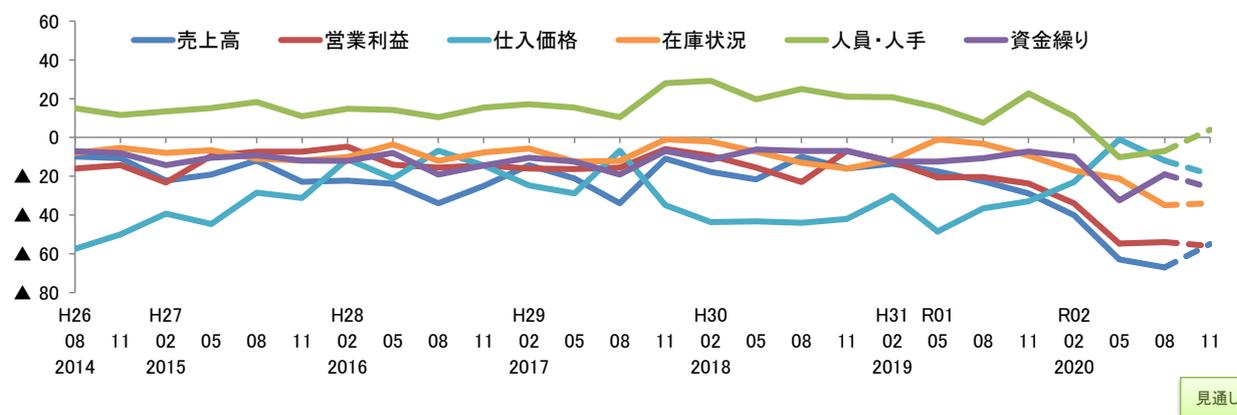
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲65.0（前回調査比 1.1 ポイント下落）と足踏み状態となった。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「営業利益」がほぼ横ばいとなり、「資金繰り」が改善したものの、「売上高」「仕入価格」「在庫状況」が悪化となった。「人員・人手」は3期ぶりにプラス幅が拡大した。各社のコメントからは、自粛に伴う消費の低迷を背景にガソリンスタンドや食料品関連の売り上げが減少している状況がうかがえる。一方、一部の機器販売業などでは感染対策商品の需要の高まりから売り上げを伸ばしている様子も見受けられる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲60.0（今回調査比 5.0 ポイント上昇）と、改善が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

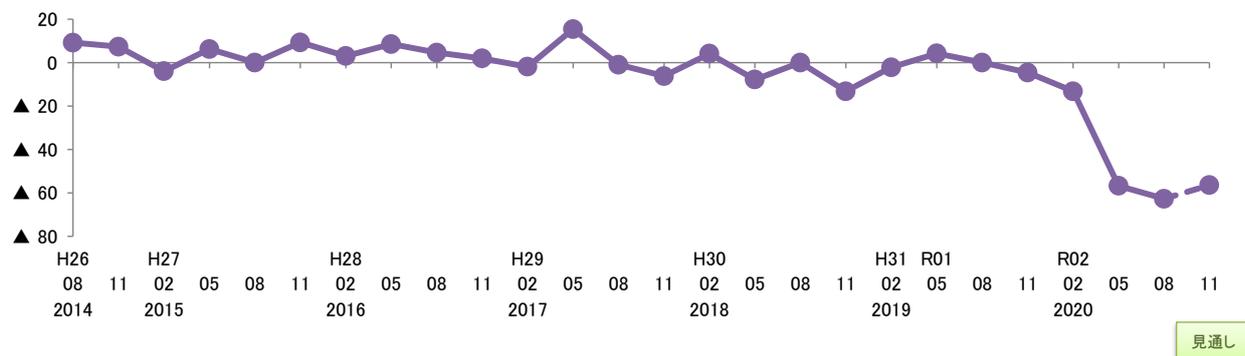
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測							
R 01.08 (n=93)	▲ 18.3	(▲ 2.8)	▲ 19.6	▲ 22.6	▲ 20.4	▲ 36.6	▲ 3.2	7.6	▲ 10.7
R 01.11 (n=97)	▲ 21.7	(▲ 3.4)	▲ 12.9	▲ 28.8	▲ 23.7	▲ 33.0	▲ 9.3	22.7	▲ 7.2
R 02.02 (n=100)	▲ 35.0	(▲ 13.3)	▲ 30.9	▲ 40.0	▲ 34.0	▲ 23.0	▲ 17.0	11.0	▲ 10.0
R 02.05 (n=108)	▲ 63.9	(▲ 28.9)	▲ 39.0	▲ 62.9	▲ 54.7	▲ 1.0	▲ 21.3	▲ 10.2	▲ 32.4
R 02.08 (n=100)	▲ 65.0	(▲ 1.1)	▲ 79.6	▲ 67.0	▲ 54.0	▲ 12.0	▲ 35.0	▲ 7.0	▲ 19.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 4.1)	(0.7)	(▲ 11.0)	(▲ 13.7)	(3.2)	(13.4)
先行き見通し	▲ 60.0	-	-	▲ 55.0	▲ 56.0	▲ 19.0	▲ 34.0	4.0	▲ 26.0
今回調査比	(5.0)	-	-	(12.0)	(▲ 2.0)	(▲ 7.0)	(1.0)	(11.0)	(▲ 7.0)

④ サービス業

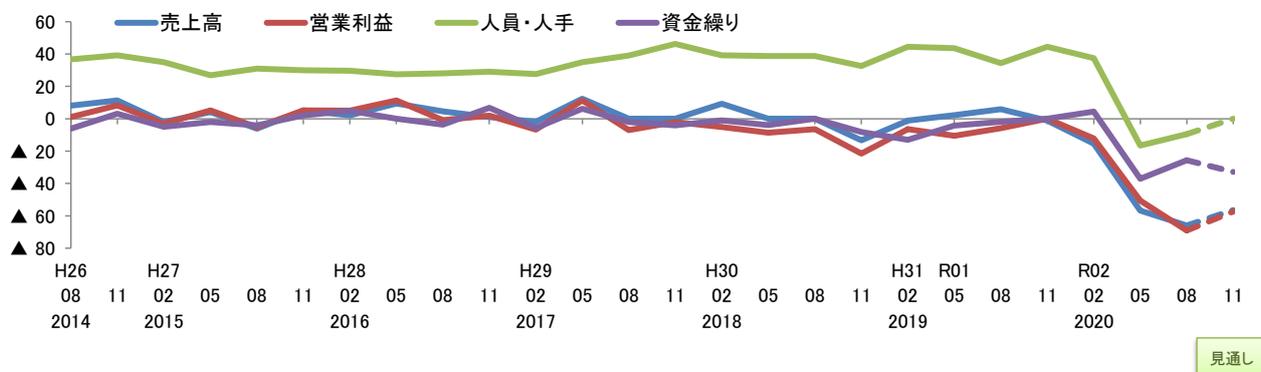
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲62.7（前回調査比 6.0 ポイント下落）と 5 期連続で悪化となった。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「資金繰り」は改善となった一方で、「売上高」「営業利益」は悪化となった。「人員・人手」は 3 期ぶりにプラス幅が拡大となった。各社のコメントからは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けての休業や相次ぐ予約キャンセルなどによって、観光業や宿泊業の大幅な業況悪化の状況がうかがえる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲56.4（今回調査比 6.3 ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 11 サービス業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

サービス業 調査時 (サンプル数)	自社業況 (前年同期比)			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測					
R 01.08 (n=102)	0.0	(▲ 4.2)	▲ 23.4	5.9	▲ 5.9	34.3	▲ 1.9
R 01.11 (n=88)	▲ 4.6	(▲ 4.6)	▲ 6.9	▲ 1.1	0.0	44.4	0.0
R 02.02 (n=91)	▲ 13.2	(▲ 8.6)	▲ 9.1	▲ 15.4	▲ 12.1	37.4	4.4
R 02.05 (n=97)	▲ 56.7	(▲ 43.5)	▲ 28.6	▲ 56.7	▲ 50.6	▲ 16.5	▲ 37.1
R 02.08 (n=94)	▲ 62.7	(▲ 6.0)	▲ 77.4	▲ 66.0	▲ 69.1	▲ 9.5	▲ 25.6
前回調査比	-	-	-	(▲ 9.3)	(▲ 18.5)	(7.0)	(11.5)
先行き見通し	▲ 56.4	-	-	▲ 56.4	▲ 57.4	0.0	▲ 32.9
今回調査比	(6.3)	-	-	(9.6)	(11.7)	(9.5)	(▲ 7.3)

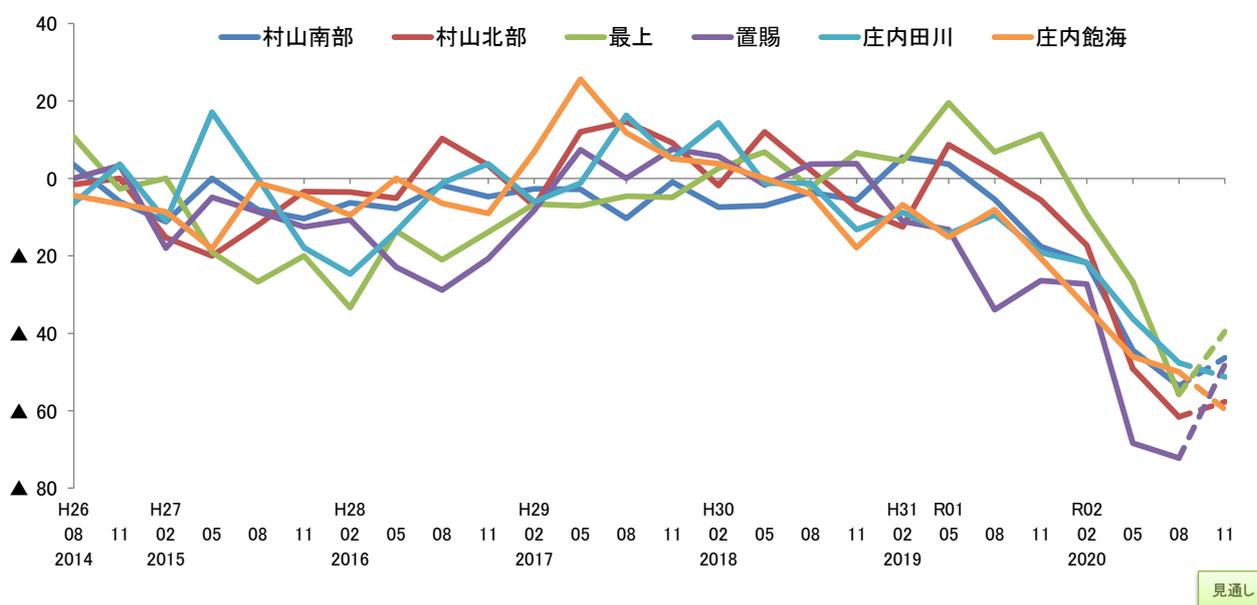
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲53.6（前回調査比9.2ポイント下落）、村山北部が▲61.6（前回調査比12.5ポイント下落）、最上が▲55.8（前回調査比29.1ポイント下落）、置賜が▲72.2（前回調査比3.8ポイント下落）、庄内田川が▲47.6（前回調査比11.4ポイント下落）、庄内飽海が▲50.0（前回調査比4.0ポイント下落）と、すべての地域で悪化となった。

業況の先行き見通しをみると、庄内田川、庄内飽海で悪化、その他の地域で改善が見込まれている。

図表 12 地域別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）						
	全地域	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
R 01.08 (n=416)	▲ 8.2	▲ 5.4	1.8	6.8	▲ 33.9	▲ 9.4	▲ 8.1
R 01.11 (n=385)	▲ 15.3	▲ 17.6	▲ 5.6	11.4	▲ 26.4	▲ 19.2	▲ 20.6
R 02.02 (n=412)	▲ 22.6	▲ 21.8	▲ 17.3	▲ 9.3	▲ 27.3	▲ 21.8	▲ 33.3
R 02.05 (n=433)	▲ 45.3	▲ 44.4	▲ 49.1	▲ 26.7	▲ 68.4	▲ 36.2	▲ 46.0
R 02.08 (n=413)	▲ 55.5	▲ 53.6	▲ 61.6	▲ 55.8	▲ 72.2	▲ 47.6	▲ 50.0
前回調査比	(▲ 10.2)	(▲ 9.2)	(▲ 12.5)	(▲ 29.1)	(▲ 3.8)	(▲ 11.4)	(▲ 4.0)
先行き見通し	▲ 50.6	▲ 46.3	▲ 57.7	▲ 39.5	▲ 48.1	▲ 51.3	▲ 59.7
今回調査比	(4.9)	(7.3)	(3.9)	(16.3)	(24.1)	(▲ 3.7)	(▲ 9.7)

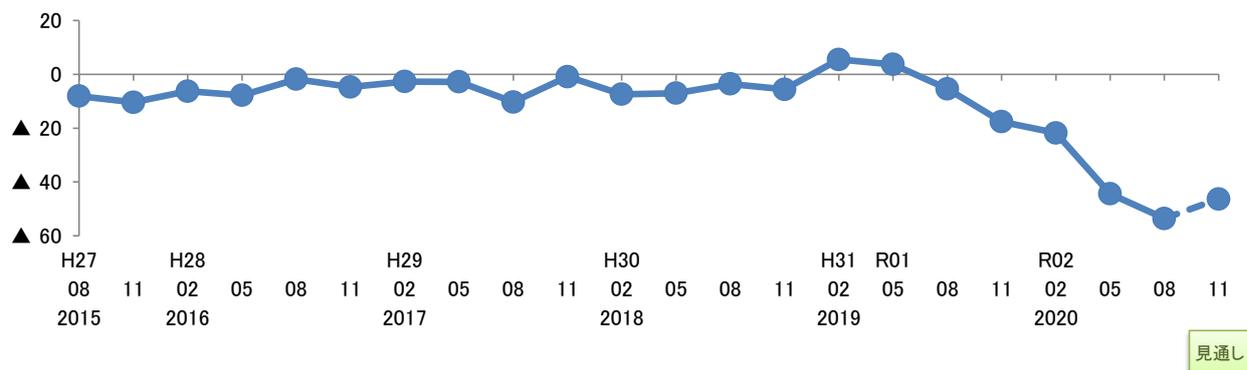
(2) 地域別 D I 値の動向

① 村山南部

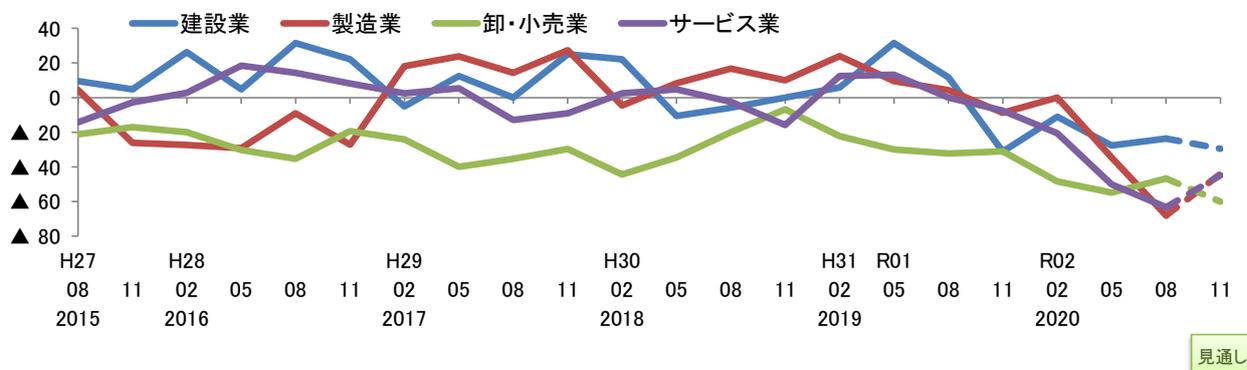
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲53.6（前回調査比 9.2 ポイント下落）と 6 期連続で悪化となった。業種別にみると、製造業とサービス業で悪化、建設業と卸・小売業で改善となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲46.3（今回調査比 7.3 ポイント上昇）と改善の見込みとなっている。

図表 13 村山南部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 14 村山南部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

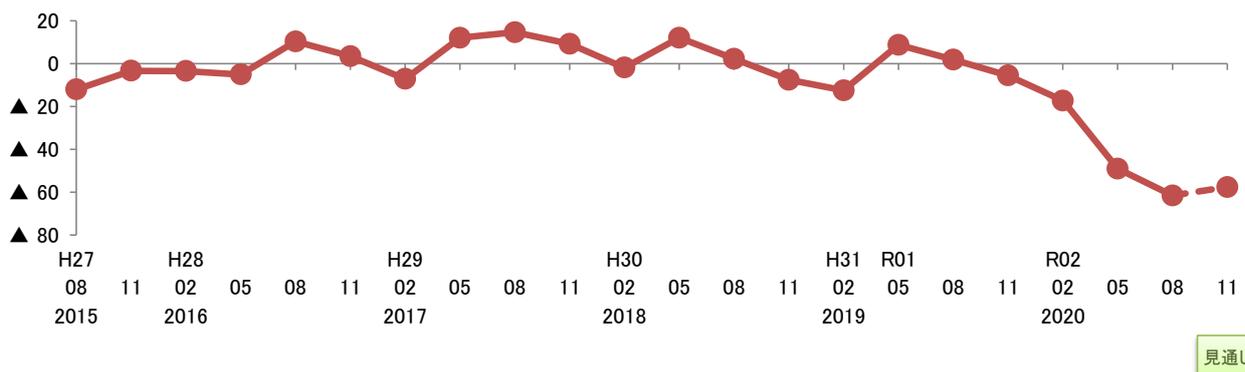
村山南部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 01. 08 (n=112)	▲ 5.4	(▲ 9.1)	▲ 12.9	11.7	4.3	▲ 32.2	0.0
R 01. 11 (n=108)	▲ 17.6	(▲ 12.2)	▲ 5.3	▲ 31.2	▲ 8.7	▲ 31.0	▲ 7.5
R 02. 02 (n=115)	▲ 21.8	(▲ 4.2)	▲ 17.6	▲ 11.1	0.0	▲ 48.3	▲ 20.5
R 02. 05 (n=115)	▲ 44.4	(▲ 22.6)	▲ 35.6	▲ 27.7	▲ 34.6	▲ 54.8	▲ 50.0
R 02. 08 (n=110)	▲ 53.6	(▲ 9.2)	▲ 68.7	▲ 23.6	▲ 68.0	▲ 46.7	▲ 63.2
前回調査比	-	-	-	(4.1)	(▲ 33.4)	(8.1)	(▲ 13.2)
先行き見通し	▲ 46.3	-	-	▲ 29.5	▲ 44.0	▲ 60.0	▲ 44.8
今回調査比	(7.3)	-	-	(▲ 5.9)	(24.0)	(▲ 13.3)	(18.4)

② 村山北部

「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲61.6（前回調査比 12.5 ポイント下落）と 5 期連続で悪化となった。業種別にみると、製造業、卸・小売業、サービス業で悪化となっている。

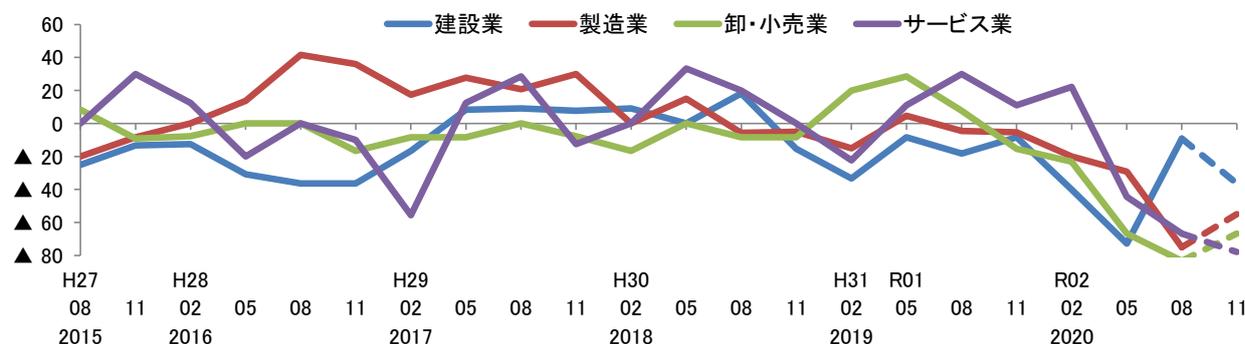
業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲57.7（今回調査比 3.9 ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 15 村山北部「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 16 村山北部「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況DI値

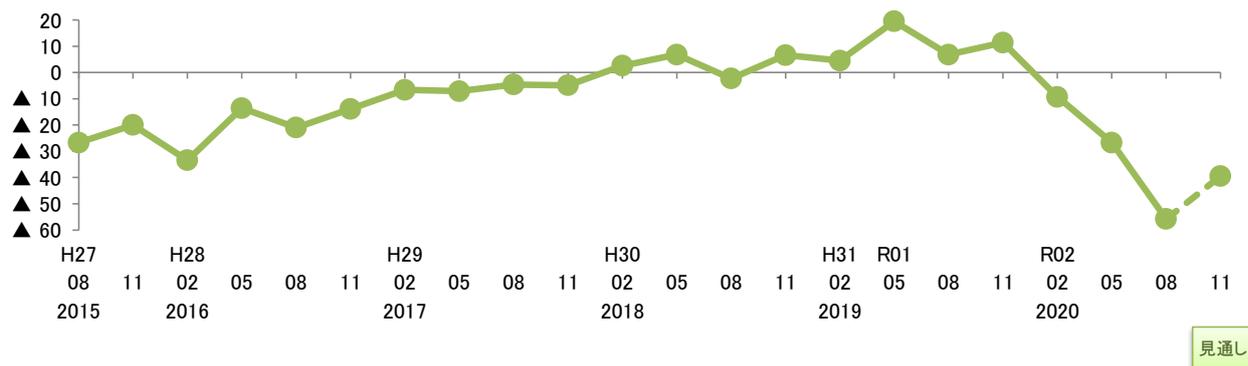
村山北部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 01. 08 (n=56)	1.8	(▲ 6.9)	▲ 3.6	▲ 18.2	▲ 4.6	7.7	30.0
R 01. 11 (n=53)	▲ 5.6	(▲ 7.4)	▲ 7.1	▲ 8.3	▲ 5.3	▲ 15.4	11.1
R 02. 02 (n=52)	▲ 17.3	(▲ 11.7)	▲ 32.1	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 23.1	22.2
R 02. 05 (n=59)	▲ 49.1	(▲ 31.8)	▲ 30.8	▲ 72.7	▲ 29.2	▲ 66.7	▲ 44.5
R 02. 08 (n=52)	▲ 61.6	(▲ 12.5)	▲ 66.1	▲ 9.1	▲ 75.0	▲ 83.3	▲ 66.7
前回調査比	-	-	-	(63.6)	(▲ 45.8)	(▲ 16.6)	(▲ 22.2)
先行き見通し	▲ 57.7	-	-	▲ 36.4	▲ 55.0	▲ 66.7	▲ 77.8
今回調査比	(3.9)	-	-	(▲ 27.3)	(20.0)	(16.6)	(▲ 11.1)

③ 最上

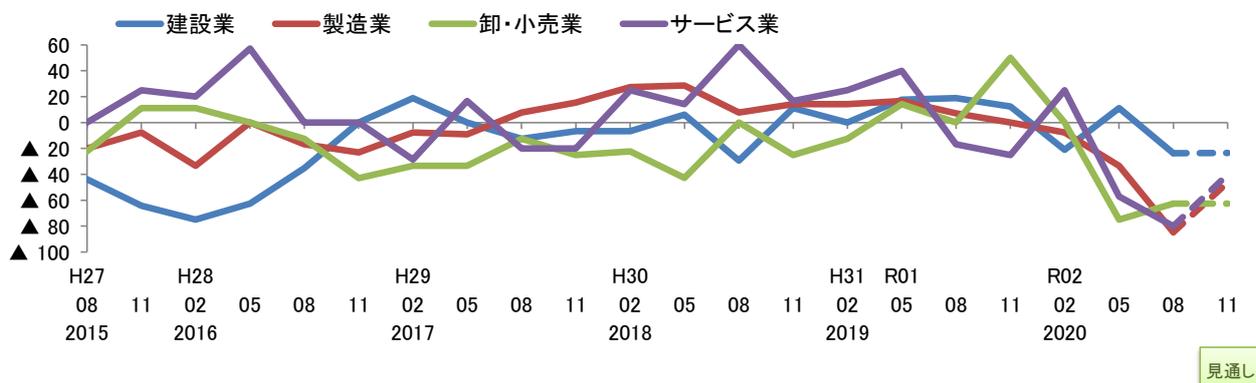
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲55.8（前回調査比 29.1 ポイント下落）と3期連続で悪化となった。業種別にみると、建設業、製造業、サービス業で悪化となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲39.5（今回調査比 16.3 ポイント上昇）と改善の見込みとなっている。

図表 17 最上「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 18 最上「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

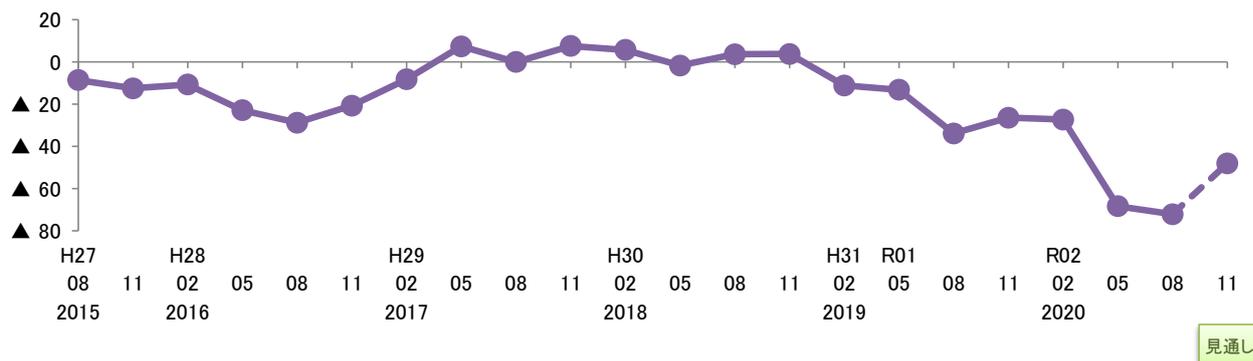
最上 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 01. 08 (n=44)	6.8	(▲ 12.7)	4.9	18.8	7.2	0.0	▲ 16.7
R 01. 11 (n=35)	11.4	(4.6)	2.2	12.5	0.0	50.0	▲ 25.0
R 02. 02 (n=43)	▲ 9.3	(▲ 20.7)	▲ 5.7	▲ 21.0	▲ 7.7	0.0	25.0
R 02. 05 (n=45)	▲ 26.7	(▲ 17.4)	▲ 27.9	11.1	▲ 33.4	▲ 75.0	▲ 57.1
R 02. 08 (n=43)	▲ 55.8	(▲ 29.1)	▲ 68.9	▲ 23.6	▲ 84.6	▲ 62.5	▲ 80.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 34.7)	(▲ 51.2)	(12.5)	(▲ 22.9)
先行き見通し	▲ 39.5	-	-	▲ 23.5	▲ 46.1	▲ 62.5	▲ 40.0
今回調査比	(16.3)	-	-	(0.1)	(38.5)	(0.0)	(40.0)

④ 置 賜

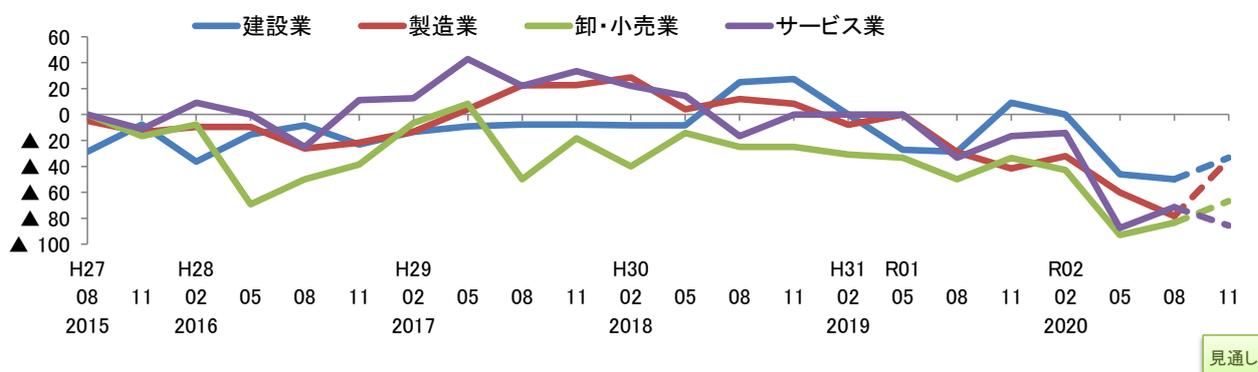
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲72.2（前回調査比 3.8 ポイント下落）で悪化となった。業種別にみると、卸・小売業とサービス業で改善となった一方、建設業と製造業で悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲48.1（今回調査比 24.1 ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 19 置賜「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 20 置賜「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

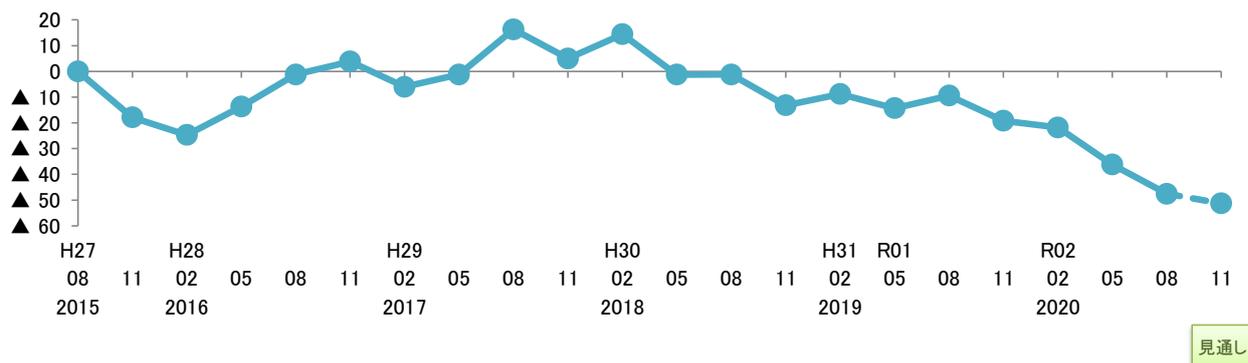
置 賜 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 01. 08 (n=56)	▲ 33.9	(▲ 20.7)	▲ 24.5	▲ 28.6	▲ 29.1	▲ 50.0	▲ 33.3
R 01. 11 (n=53)	▲ 26.4	(7.5)	▲ 35.7	9.1	▲ 41.6	▲ 33.4	▲ 16.6
R 02. 02 (n=55)	▲ 27.3	(▲ 0.9)	▲ 24.5	0.0	▲ 32.0	▲ 42.8	▲ 14.3
R 02. 05 (n=60)	▲ 68.4	(▲ 41.1)	▲ 47.2	▲ 46.1	▲ 60.0	▲ 92.9	▲ 87.5
R 02. 08 (n=54)	▲ 72.2	(▲ 3.8)	▲ 68.3	▲ 50.0	▲ 78.3	▲ 83.3	▲ 71.4
前回調査比	-	-	-	(▲ 3.9)	(▲ 18.3)	(9.6)	(16.1)
先行き見通し	▲ 48.1	-	-	▲ 33.3	▲ 34.8	▲ 66.7	▲ 85.7
今回調査比	(24.1)	-	-	(16.7)	(43.5)	(16.6)	(▲ 14.3)

⑤ 庄内田川

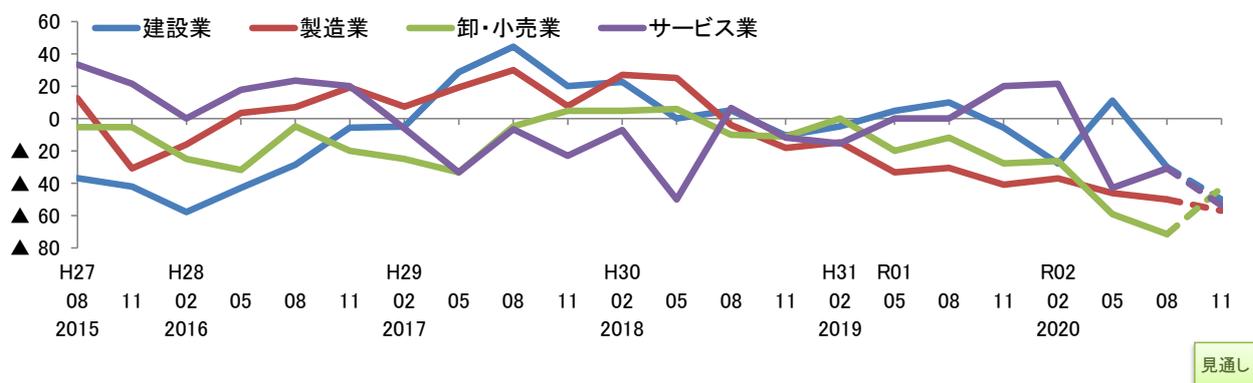
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲47.6（前回調査比 11.4 ポイント下落）と 4 期連続で悪化となった。業種別にみると、建設業、製造業、卸・小売業で悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲51.3（今回調査 3.7 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 21 庄内田川「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 22 庄内田川「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

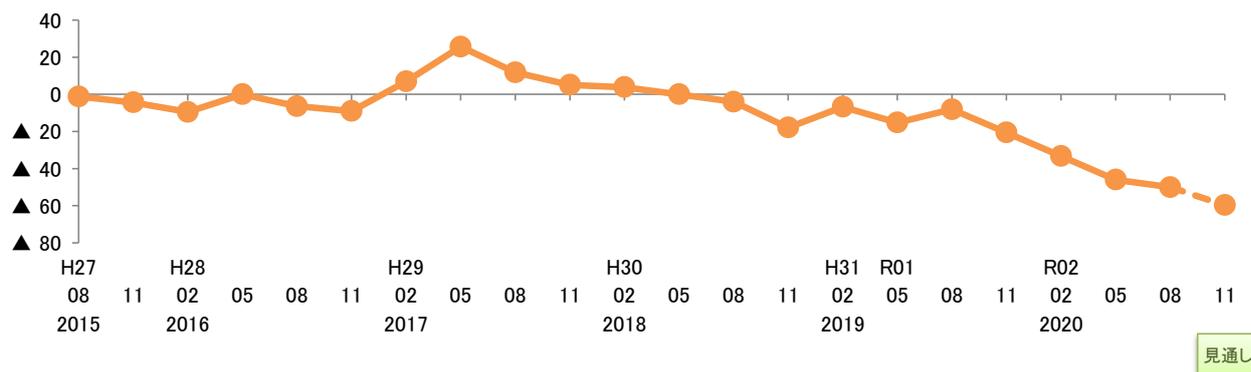
庄内田川 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 01. 08 (n=74)	▲ 9.4	(4.9)	▲ 35.1	10.0	▲ 30.5	▲ 11.8	0.0
R 01. 11 (n=68)	▲ 19.2	(▲ 9.8)	▲ 18.9	▲ 5.6	▲ 41.0	▲ 27.7	20.0
R 02. 02 (n=78)	▲ 21.8	(▲ 2.6)	▲ 10.3	▲ 27.8	▲ 37.0	▲ 26.3	21.5
R 02. 05 (n=80)	▲ 36.2	(▲ 14.4)	▲ 29.5	11.1	▲ 46.1	▲ 59.1	▲ 42.8
R 02. 08 (n=82)	▲ 47.6	(▲ 11.4)	▲ 63.7	▲ 30.0	▲ 50.0	▲ 71.5	▲ 30.8
前回調査比	-	-	-	(▲ 41.1)	(▲ 3.9)	(▲ 12.4)	(12.0)
先行き見通し	▲ 51.3	-	-	▲ 50.0	▲ 57.1	▲ 42.8	▲ 53.8
今回調査比	(▲ 3.7)	-	-	(▲ 20.0)	(▲ 7.1)	(28.7)	(▲ 23.0)

⑥ 庄内飽海

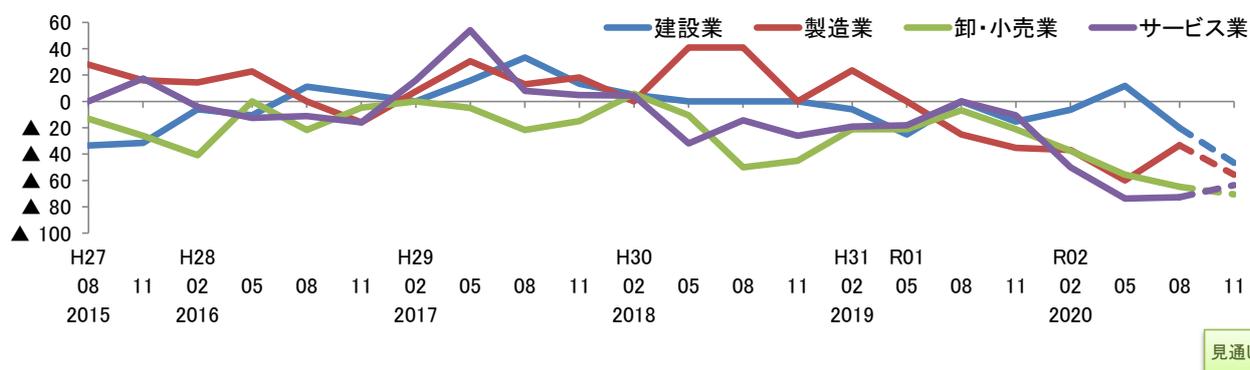
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲50.0（前回調査比4.0ポイント下落）と4期連続で悪化となった。業種別にみると、製造業とサービス業で改善となったものの、建設業、卸・小売業で悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲59.7（今回調査比9.7ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 23 庄内飽海「自社の業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 24 庄内飽海「業種別・自社の業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

庄内飽海 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 01. 08 (n=74)	▲ 8.1	(7.1)	▲ 30.4	0.0	▲ 25.0	▲ 6.7	0.0
R 01. 11 (n=68)	▲ 20.6	(▲ 12.5)	▲ 13.5	▲ 15.4	▲ 35.3	▲ 21.0	▲ 10.6
R 02. 02 (n=69)	▲ 33.3	(▲ 12.7)	▲ 28.0	▲ 6.3	▲ 36.9	▲ 37.5	▲ 50.0
R 02. 05 (n=74)	▲ 46.0	(▲ 12.7)	▲ 18.9	11.8	▲ 60.0	▲ 55.5	▲ 73.7
R 02. 08 (n=72)	▲ 50.0	(▲ 4.0)	▲ 67.5	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 64.7	▲ 72.7
前回調査比	-	-	-	(▲ 31.8)	(26.7)	(▲ 9.2)	(1.0)
先行き見通し	▲ 59.7	-	-	▲ 46.6	▲ 55.6	▲ 70.6	▲ 63.6
今回調査比	(▲ 9.7)	-	-	(▲ 26.6)	(▲ 22.3)	(▲ 5.9)	(9.1)

II. 景気天気予報図

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
$D \geq 30$	$30 > D \geq 10$	$10 > D \geq \Delta 10$	$\Delta 10 > D \geq \Delta 30$	$\Delta 30 > D$

山形県

今期の業況 → 来期の見通し

庄内飽海

→

最上

→

庄内田川

→

村山北部

→

置賜

→

村山南部

→

今期の概況

来期の見通し

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							



	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

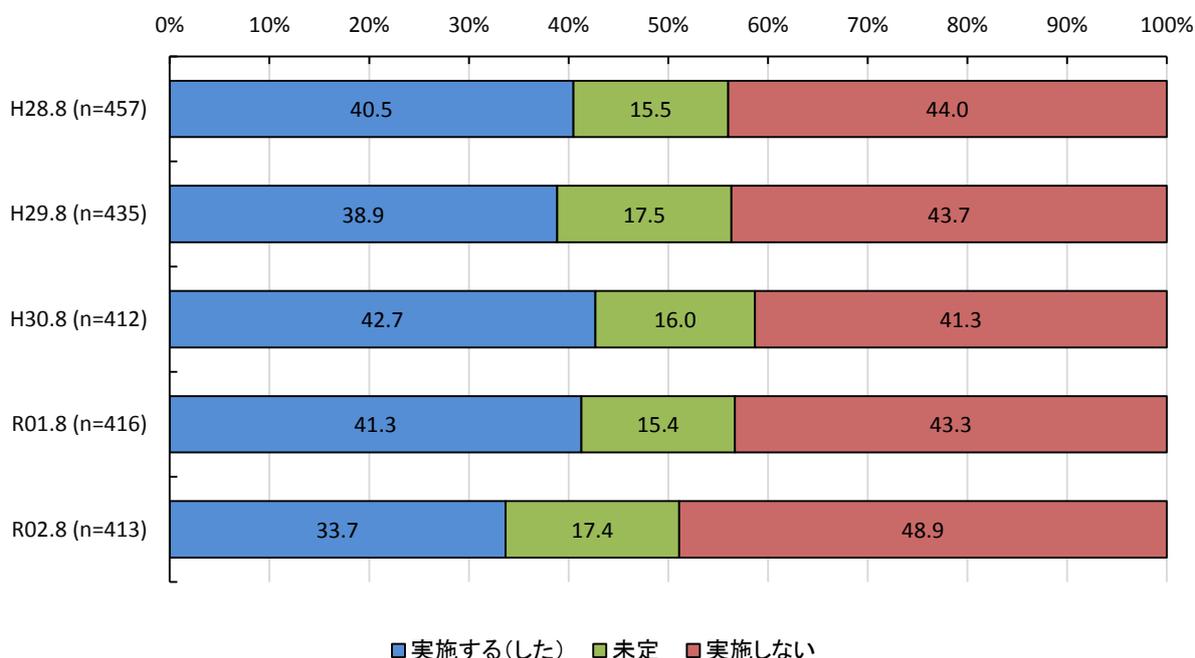
III. 特別調査

1. 設備投資動向について

(1) 設備投資動向

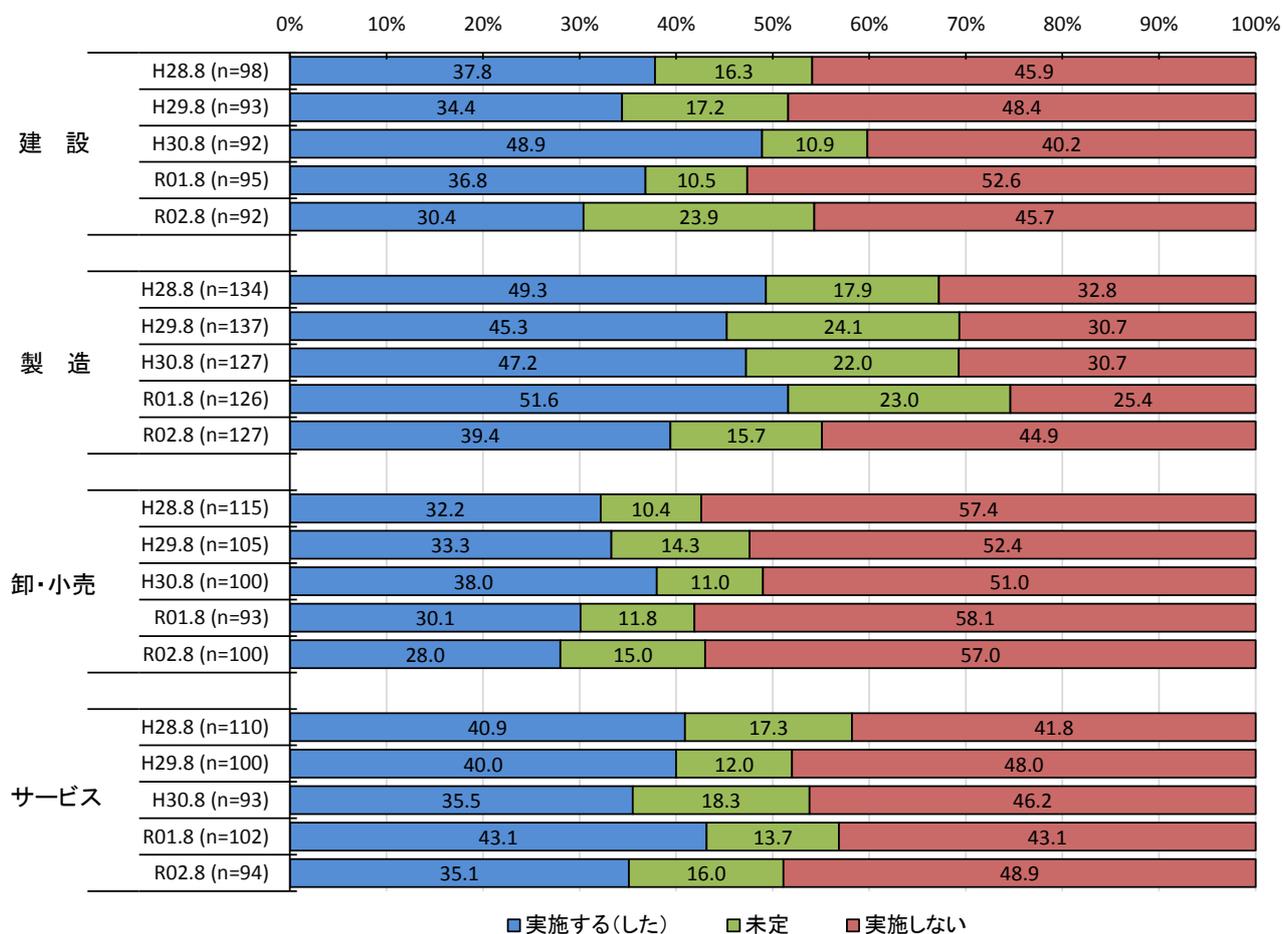
令和 2 年度中に設備投資を「実施する（した）」と回答した企業の割合は 33.7%と、前年度に比べ 7.6 ポイントの低下となった。一方、「実施しない」は 48.9%と 5.6 ポイントの上昇となった。

図表 25 「設備投資動向」の推移



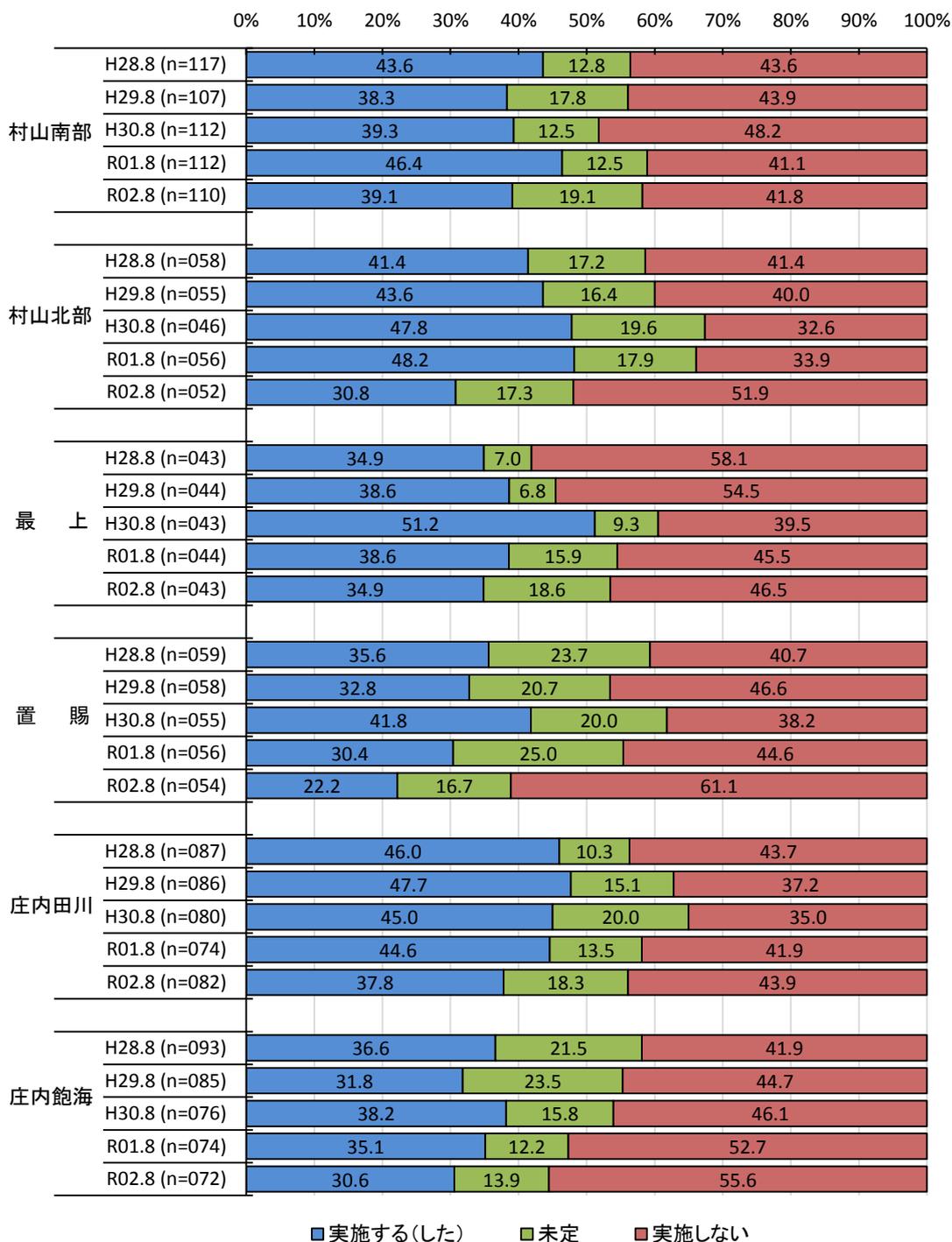
業種別にみると、「実施する（した）」と回答した企業の割合は、建設業が 30.4%（前年度比 6.4 ポイント低下）、製造業が 39.4%（前年度比 12.2 ポイント低下）、卸・小売業が 28.0%（前年度比 2.1 ポイント低下）、サービス業が 35.1%（前年度比 8.0 ポイント低下）と、全ての業種で低下となった。

図表 26 業種別 「設備投資動向」の推移



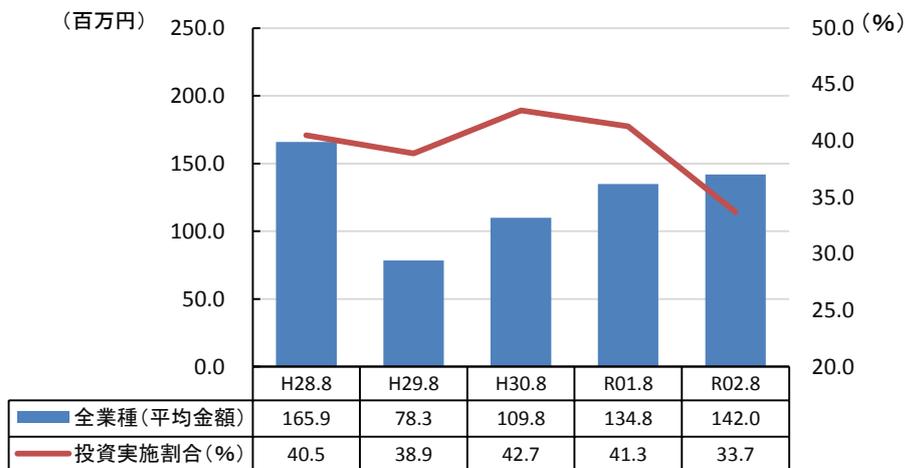
地域別にみると、「実施する（した）」と回答した企業の割合は、村山南部は 39.1%（前年度比 7.3 ポイント低下）、村山北部は 30.8%（前年度比 17.4 ポイント低下）、最上は 34.9%（前年度比 3.7 ポイント低下）、置賜は 22.2%（前年度比 8.2 ポイント低下）、庄内田川は 37.8%（前年度比 6.8 ポイント低下）、庄内飽海は 30.6%（前年度比 4.5 ポイント低下）となり、すべての地域で低下となった。

図表 27 地域別 「設備投資動向」の推移



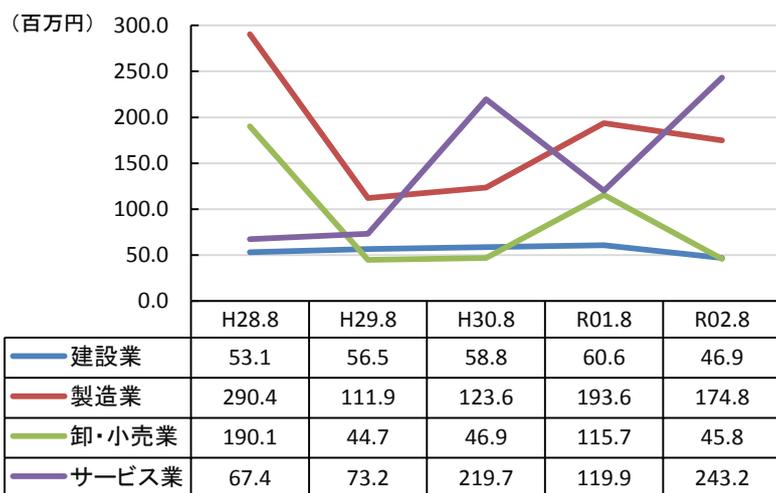
(2) 設備投資金額

図表 28 全業種 「平均設備投資金額と実施割合」の推移



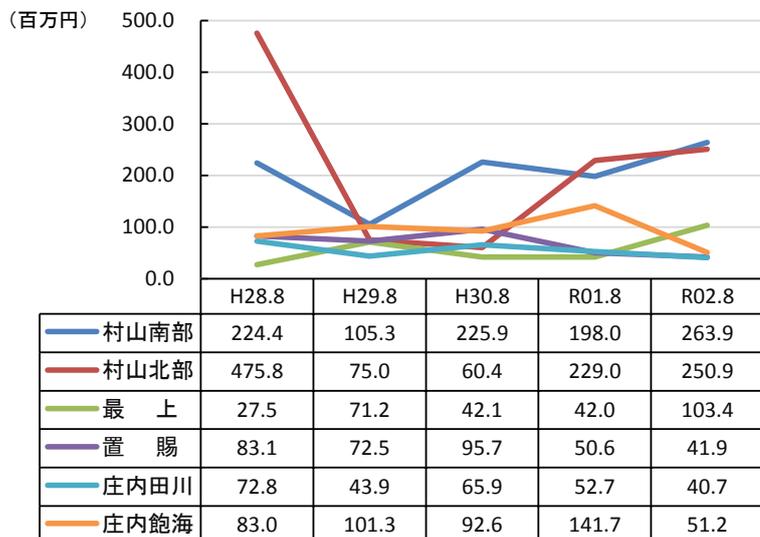
設備投資を「実施する(した)」と回答した企業に投資額を尋ねたところ、1社あたり平均設備投資金額(予定含む)は1億4,200万円で、前年度より720万円増加した。

図表 29 業種別 「平均設備投資金額」の推移



業種別にみると、建設業が4,690万円(前年度比1,370万円減少)、製造業が1億7,480万円(前年度比1,880万円減少)、卸・小売業が4,580万円(前年度比6,990万円減少)、サービス業が2億4,320万円(前年度比1億2,330万円増加)となり、サービス業を除く3業種で減少となった。

図表 30 地域別 「平均設備投資金額」の推移

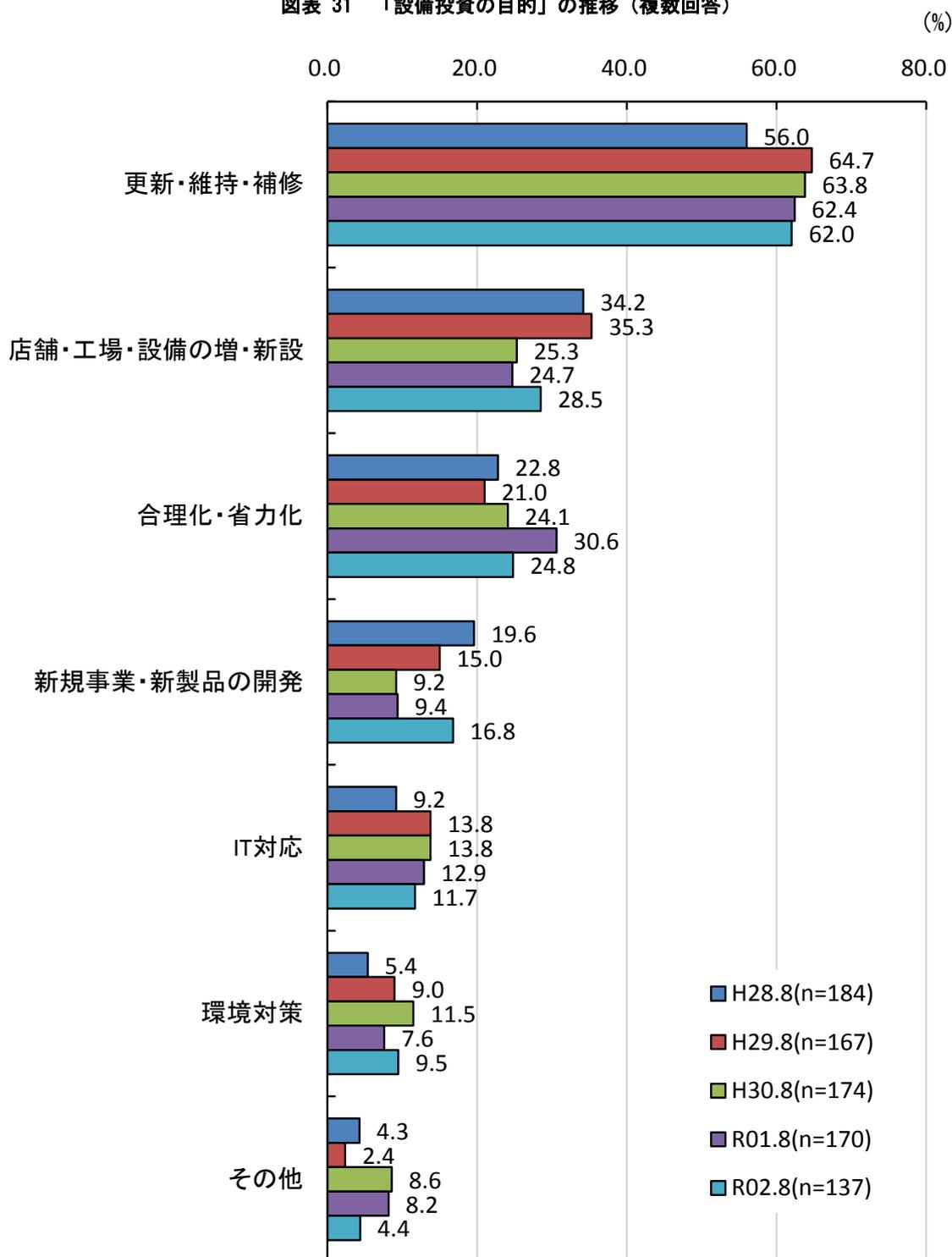


地域別にみると、村山南部が2億6,390万円(前年度比6,590万円増加)、村山北部が2億5,090万円(前年度比2,190万円増加)、最上が1億340万円(前年度比6,140万円増加)、置賜が4,190万円(前年度比870万円減少)、庄内田川が4,070万円(前年度比1,200万円減少)、庄内飽海が5,120万円(前年度比9,050万円減少)となり、置賜、庄内田川、庄内飽海で減少、村山南部、村山北部、最上で増加となった。

(3) 設備投資目的

設備投資の主な目的について尋ねたところ（複数回答）、「更新・維持・補修」と回答した企業の割合が 62.0%と最も高くなった。次いで、前年は設備投資目的の第 3 位であった「店舗・工場・設備の増・新設」が 28.5%で第 2 位となり、「合理化・省力化」が 24.8%と続いた。

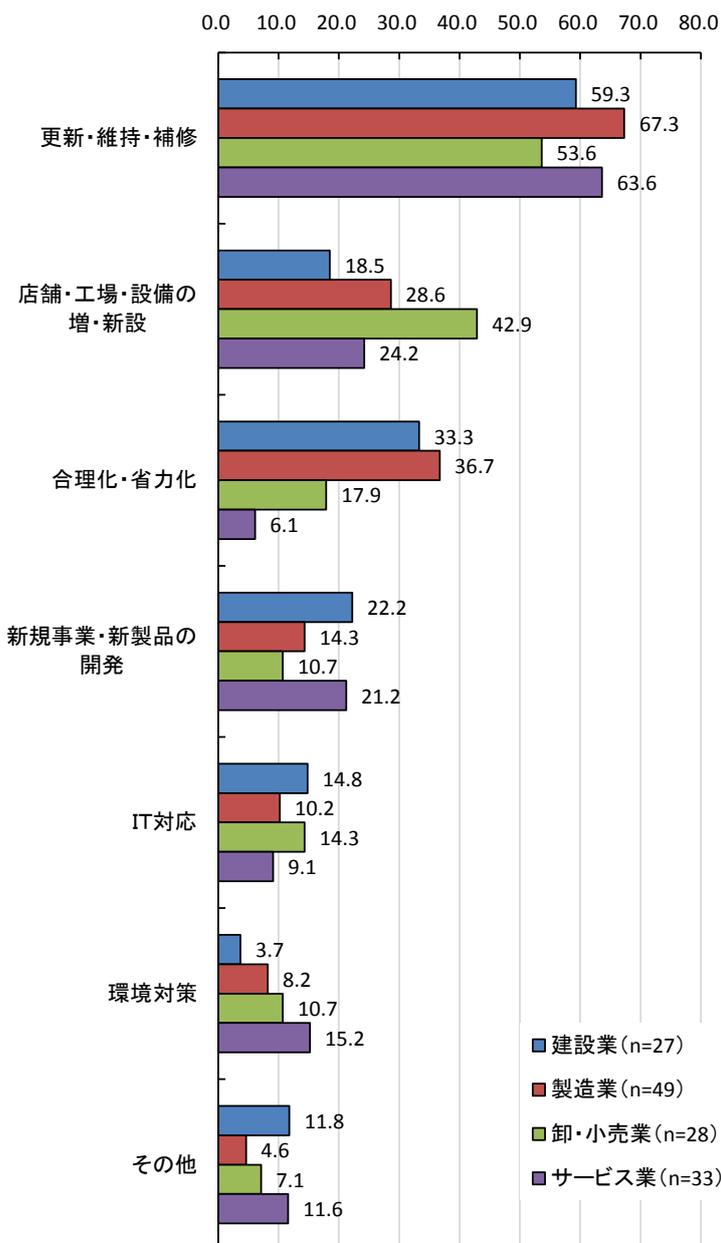
図表 31 「設備投資の目的」の推移（複数回答）



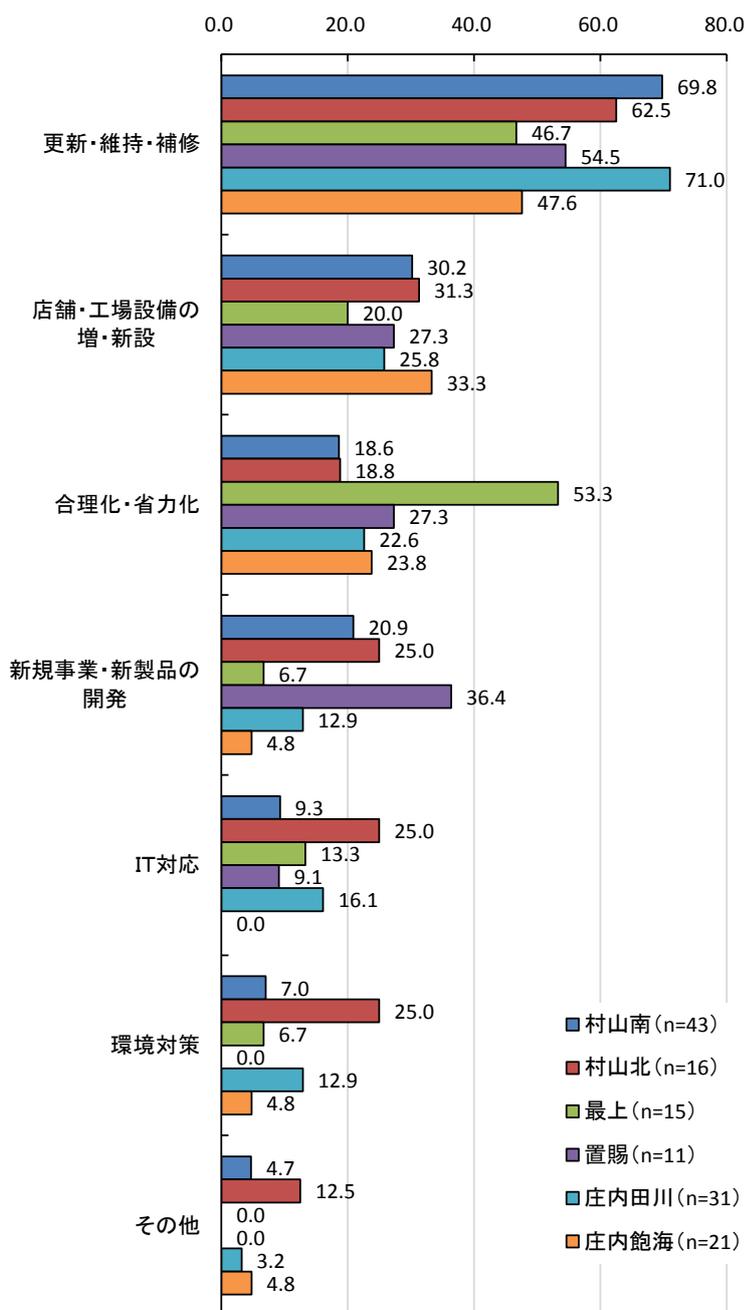
業種別に投資目的をみると、すべての業種で、「更新・維持・補修」が最も高く、建設業と製造業では、次いで「合理化・省力化」、「店舗・工場・設備の増・新設」となっている。卸・小売業とサービス業では「店舗・工場・設備の増・新設」が第 2 位となり、「合理化・省力化」が第 3 位となっている。

地域別にみると、最上で「合理化・省力化」、その他の地域で「更新・維持・補修」の回答割合が最も高かった。第 2 位以下は地域によってばらつきがみられる。

図表 32 業種別「設備投資の目的」(複数回答) (%)



図表 33 地域別「設備投資の目的」(複数回答) (%)

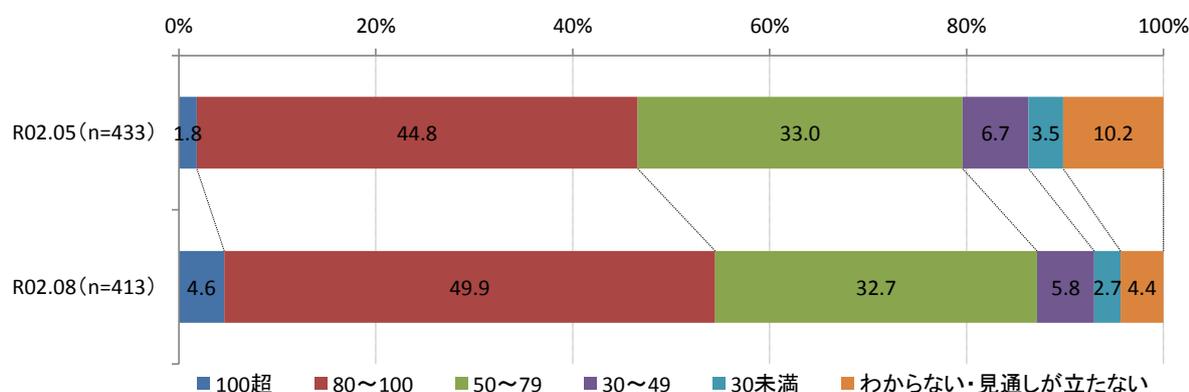


2. 新型コロナウイルス感染症の事業への影響について

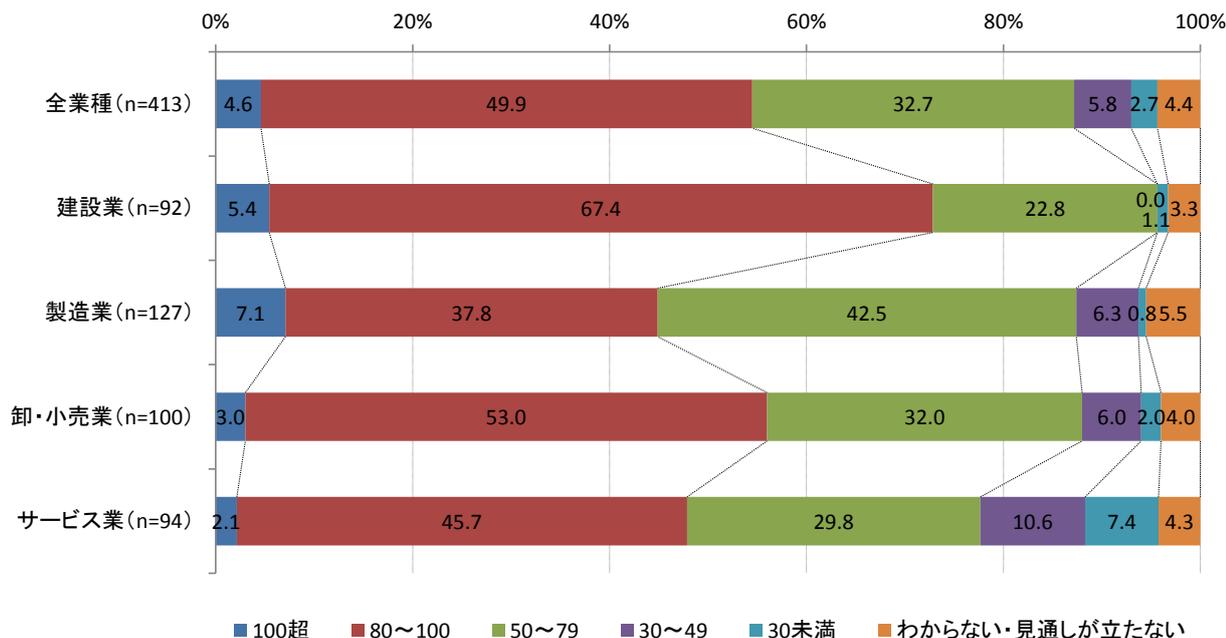
新型コロナウイルス感染症の事業への影響について、事業活動全体における平常時の経営状況を 100 とした場合の今年度の業績見通しをたずねたところ、全業種で「80～100」が 49.9%（前回調査比 5.1 ポイント上昇）と最も多く、次いで「50～79」が 32.7%となっている。平常時の 8 割以上を見込んでいる回答が、前回調査時の 46.6%から 54.5%へ 7.9 ポイント上昇しており、新型コロナウイルス感染症による業況悪化の見通しに若干の改善傾向がみられる。

業種別にみてもすべての業種で「80～100」が最も多くなっている。特に、建設業が 67.4%と他業種に比べて高い割合を示している。

図表 34 全業種「今年度の業績見通し」の推移（平常時の経営状況=100とした場合）



図表 35 業種別「今年度の業績見通し」（平常時の経営状況=100とした場合）



<参考資料Ⅰ：地域別・業種別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	21	35	45	55	156
村山北部	20	34	17	17	88
最上	21	18	10	18	67
置賜	23	29	25	13	90
庄内田川	29	38	29	28	124
庄内飽海	34	33	31	37	135
合計	148	187	157	168	660

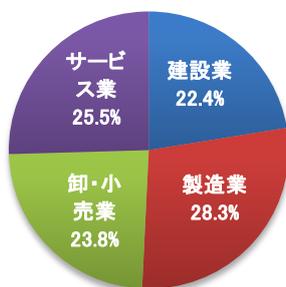
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	17	25	30	38	110
村山北部	11	20	12	9	52
最上	17	13	8	5	43
置賜	12	23	12	7	54
庄内田川	20	28	21	13	82
庄内飽海	15	18	17	22	72
合計	92	127	100	94	413

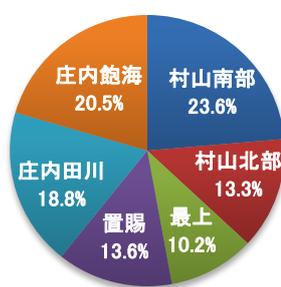
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	81.0	71.4	66.7	69.1	70.5
村山北部	55.0	58.8	70.6	52.9	59.1
最上	81.0	72.2	80.0	27.8	64.2
置賜	52.2	79.3	48.0	53.8	60.0
庄内田川	69.0	73.7	72.4	46.4	66.1
庄内飽海	44.1	54.5	54.8	59.5	53.3
合計	62.2	67.9	63.7	56.0	62.6

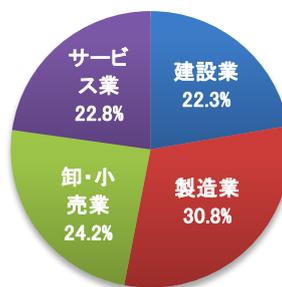
サンプル割合（業種別）



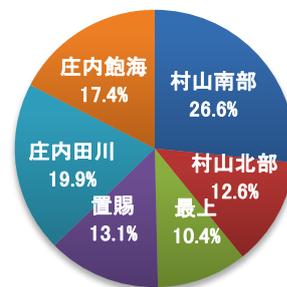
サンプル割合（地域別）



回答社割合（業種別）



回答社割合（地域別）



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部 F A X を利用）

● 調査期間

令和 2 年 8 月 3 日(月)～17 日(月)

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最 上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置 賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採用している。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている

項 目	選択肢 (択一方式)
自社の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない 2. ちょうどよい 3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった 2. さほど変わらない 3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
製 (商) 品の仕入価 (卸・小売業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採用している

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り

例) 自社の業況 D I 値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向 (良くなっているか、悪くなっているか) についても分かる

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと) を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する

<お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<https://www.fir.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研

リサーチ&コンサルティング事業本部 熊本 均 / 手塚 綾子

〒990-0043 山形県山形市本町1-4-2 1 荘銀山形ビル 8 F

TEL : 023-626-9017 FAX : 023-626-9038

E-mail : kenkyuu@fir.co.jp URL : <https://www.fir.co.jp/>